

2025年度S Semester 先進科学 I $\alpha$   
量子技術と量子コンピュータ (アドバンスト理科)  
金曜2限

担当教員：野口篤史 [u-atsushi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:u-atsushi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)

以下の32名の履修を認めます。

J4230408	J4240365	J4240998
J4240003	J4240490	J4250064
J4240006	J4240507	J4250519
J4240010	J4240566	J5240012
J4240021	J4240615	J5240051
J4240028	J4240658	J5240145
J4240041	J4240675	J5240294
J4240104	J4240737	J5240315
J4240134	J4240771	J5250347
J4240195	J4240857	J6240073
J4240318	J4240885	

>上の学籍番号のみなさん

本講義では Slack を用いた情報共有を考えています。Slack は過去の先進科学 I $\alpha$  と共通です。また、履修登録は忘れないようにお願いします。第2回の授業は情報教育棟 E31 教室で行います。その授業で IBM Q experience への登録に関してお知らせいたします。PCのある教室ですが、自分のラップトップを使いたい場合、持ってきてください。IBM Q experience の academic 登録と Slack への招待のために、みなさんのいくつかの情報が必要です。以下のフォームにて提出をお願いします。

google フォーム：<https://forms.gle/aw4bWHP7VmH41jrL6>

>それ以外のみなさん

みなさん、課題はよくできており、熱い思いを語ってくれたので、かなり僅差でした。最終的に、一部選抜に抽選による方法を取らざるを得ませんでした。アカウントなどの都合上、断腸の思いでの選抜になりました。次の機会がある方はまたチャレンジしてください。お待ちしております。量子情報に関する質問や実験室見学なども時間の許す限りは受けられるので、メールにて連絡をもらえれば。

>総評

非常に多数の応募で、みなさん計算はよくできている上、研究への参加や種々のコンテストなど様々な経験もあり、大変驚きました。さらに課した問題から考察を進めてくれた例もあり、感心しました。また、量子技術に関していろんな授業や大小様々なイベントもあるので、ぜひ積極的に調べてみてください。また理1の1年生は、Aセメには私たちの研究室でも研究入門(基礎実験 $\alpha$ )を受け入れます。今回の授業の内容とは異なりますが、実際に超伝導量子ビットに触って動かす機会を作ることができますし、その他内容に関しては相談できますので、そちらも積極的に挑戦してみてください。

2025年4月17日 野口篤史